

【声に出して読む】 俳句 種田山頭火 五

たつた一人 日のあたる道を 来ている

たったひとり ひのあたるみちを きている

水音の うるさくて泣く

みずおとの うるさくてなく

泣くも一人 笑ふも一人

なくもひとり わらうもひとり

サイダーの 泡立ちて消ゆ 夏の月

さいだーの あわたちてきゆ なつのつき